



アスキー・システム・バンク(PC#2)

PC#2

Disk BASIC入門

飯田・大野・鈴木 共著 アスキー・ラボラトリーズ 監修



アスキー出版

目 次

0 ディスクはいったい何のため	9
1 ディスクシステムの基礎	15
1.1 計算機の記憶装置の構成	15
1.1.1 内部記憶装置	15
1.1.2 外部記憶装置	16
1.2 ディスク上のデータ扱い	17
1.3 ファイルの形式	18
1.3.1 プログラムファイル	18
1.3.2 データファイル	20
1.3.2.1 シーケンシャルファイル	22
1.3.3 ファイルの種類まとめ	26
1.4 使用宣言と終了宣言	26
1.4.1 基礎知識	26
1.4.2 ディスケットに対する宣言	28
1.4.3 データファイルに対する宣言	29
1.5 Disk BASICの働き	33

2	オペレーション入門	35
2.1	Diskコマンド, ステートメントのあらまし	35
2.2	ファイル一般に対して働くもの	36
2.2.1	MOUNT	36
2.2.2	REMOVE	36
2.2.3	FILES, LFILES	36
2.2.4	NAME	37
2.2.5	KILL	38
2.2.6	DSKF	38
2.2.7	SET, ATTRS	38
2.2.8	FORMAT	39
2.3	プログラムファイルに対して働くもの	39
2.3.1	SAVE	39
2.3.2	LOAD	39
2.3.3	RUN	40
2.3.4	MERGE	41
2.4	データファイルに対して働くもの	42
2.4.1	OPEN	42
2.4.2	CLOSE	42
2.4.3	SET	43
2.4.4	FPOS	43
2.4.5	LOC	44
2.5	シーケンシャルファイルに対して働くもの	44
2.5.1	OPEN	44
2.5.2	PRINT	45
2.5.3	INPUT	45

2. 5. 4	EOF	46
2. 5. 5	LINEINPUT#	47
2. 5. 6	INPUT#	47
2. 5. 7	PRINT#USING	47
2. 5. 8	シーケンシャルファイルを用いたプログラム例	47
2. 6	ランダムファイルに対して働くもの	53
2. 6. 1	OPEN	53
2. 6. 2	PUT	53
2. 6. 3	FIELD	54
2. 6. 4	LSET, RSET	55
2. 6. 5	GET	55
2. 6. 6	LOF	56
2. 6. 7	MKI\$, MKS\$, MKD\$	56
2. 6. 8	CVI, CVS, CVD	57
2. 7	その他	57
2. 7. 1	DSKIS	57
2. 7. 2	DSKO\$	58
3	「さらに詳しいオペレーション」	59
3. 1	シーケンシャルファイル	59
3. 1. 1	ファイルダンプ	59
3. 1. 2	数値データの入出力	60
3. 1. 3	文字列データの入出力	62
3. 2	ランダムファイル	64
3. 2. 1	レコード番号によるアクセス	64
3. 2. 2	ランダムファイルへの追加	66

3. 2. 3	対応表によるアクセス	67
3. 2. 4	ゴミレコードの再利用	71
3. 2. 5	レコードの分割	76
3. 2. 6	レコードの連結	77
3. 3	ファイルの属性—その意味と用法	78
3. 4	FIELD文の働き	80
3. 5	シーケンシャルファイルのランダムアクセス	82

4 応用の実際

4. 1	モジュール化プログラミング	85
4. 1. 1	モジュール化プログラミングとは	85
4. 1. 2	実現する方法	85
4. 1. 3	モジュール化プログラムの問題点	86
4. 1. 4	問題点をのりこえて	87
4. 1. 5	プログラムを作る	88
4. 1. 6	例#1 ジョブ・スケジューラ	88
4. 1. 7	例#2 シェルビンスキー曲線	91
4. 2	機械語ファイルの作り方	99
4. 3	音声発生	104
4. 3. 1	原理	104
4. 3. 2	実験回路	105
4. 3. 3	注意事項及び問題点	106
4. 3. 4	回路が完成したら	108
4. 3. 5	プログラム	109
4. 3. 6	まとめ	112

4. 4 「辞書」←ランダムアクセスのまとめ	112
4. 4. 1 使い方	112
4. 4. 2 プログラムの解説	114
4. 5 「クレジット」←「ビジネスのために」	120
4. 5. 1 使い方	120
4. 5. 2 プログラムの解説	122
5 Q&A	129
6 ディスクのハードウェア	143
6. 1 フロッピーディスクの構造	144
6. 2 トラックとセクタ	145
6. 3 フォーマット	145
7 ファイルの応用	147
7. 1 ファイル構造の実現	147
7. 2 ファイルの管理	149
7. 2. 1 ディスケットの記憶領域の管理	149
7. 2. 2 ファイルの名前とその管理	150
7. 3 Disk BASICでのファイル管理	152
7. 3. 1 クラスター	152
7. 3. 2 ディレクトリ	152

7. 3. 3	FAT	153
7. 3. 4	この節のまとめ	154
7. 4	ファイル構造とコマンド、ステートメントとの関係	157
7. 4. 1	MOUNT, REMOVE	157
7. 4. 2	NAME, KILL, SET	157
7. 4. 3	OPEN, CLOSE	158
7. 4. 4	PRINT#, INPUT#	159
7. 4. 5	PUT#, GET#	159
APPENDIX A		161
	エラーチェックリスト	
APPENDIX B		165
	ディスクI/Oルーチンの呼び方	
APPENDIX C		166
	ディスクケットを両面使う方法	